

# 特別販売のご案内

## 国立劇場開場50周年記念歌舞伎公演

### 仮名手本忠臣蔵

#### 三ヶ月連続完全通し上演

お申込方法の詳細は、「まちエネ」会員ページをご参照ください。

お取引様特別販売価格(税込)

3公演合計通常価格30,000円 ⇒ 特別価格 **26,400円**

(1等A席 通常前売価格 10,000×3公演=30,000円)

国立劇場開場50周年記念  
歌舞伎公演  
仮名手本忠臣蔵  
三ヶ月連続完全通し上演

【第一部】10月3日〜27日  
大序・四段目  
【第二部】11月2日〜26日  
【第三部】12月2日〜26日  
八段目・十一段目、花本橋引揚げ

東京・平蔵門  
国立劇場

国立劇場開場50周年を記念する歌舞伎公演は第一弾として、義太夫狂言の名作「仮名手本忠臣蔵」の全役を三ヶ月にわたり上演します。しかも、上演可能な場面を全て網羅した完全通し上演をご覧ください。

本作は寛延元年（一七四八）に人形浄瑠璃で初演され、早くも同年末には歌舞伎で上演されましたが、赤穂浪士の討入り事件を題材にした作品の最高峰とされています。主君・堀治判官の無念を晴らすため、大星由良之助を始め浪士たちは、敵の高師直を討ち果たします。その本懐を遂げるまでの物語には、浪士たちの苦難や、浪士の夫や恋を想う女性の心情、周囲の武士や町人の苦難などが描かれており、観る人の心を捉えてきました。

10月は、物語の巻頭から由良之助が討入りを決意するまでの上演です。大序「肥後改め」「三日月の関刀」「四段目「堀治判官」」「滅明渡し」などお馴染みの名場面に加え、「二段目「旗本館」」や「三段目「薬門」」など上演の稀な場面も取り上げます。

11月は、堀治浪士の早野勘平と恋人おかるの悲劇として、清元の舞踊「道行旅路の花笠」から始まり、五段目「山崎街道」、六段目「歌平腹切」を上演します。また、七段目「力茶屋」で、討入りの機会を窺う由良之助の真意が次第に明らかになります。

12月は、八段目「道行旅路の嫁入」、九段目「山科閑居」、さらに十段目「天川屋」と続き、討入りを除かされた人物たちのドラマを描きます。ついに十一段目「討入」で浪士たちは本懐を遂げ、「引揚げ」で大団円となります。

物語の全容を観ることができ、貴重な舞台は、歌舞伎の歴史に新たな一頁を加えることでしょうか。名作の醍醐味をお楽しみください。

国立劇場開場50周年記念  
歌舞伎公演  
仮名手本忠臣蔵  
三ヶ月連続完全通し上演



【第一部】平成28年10月3日(月)〜27日(木) 午前11時開演	大序 二段目 三段目	鶴ヶ岡社頭堂改めの場 純井銀力赤使者の場 同 松切りの場 足利殿門前の場 同 松の関刀の場 同 薬門の場	四段目 同 同 同	福ヶ谷塩船花蔵上の場 同 菅官切腹の場 同 表門城門渡しの場
■予約開始 9月6日(火) 午前10時〜 ■窓口販売開始 9月7日(水)	【第二部】11月2日(水)〜26日(土) 午前11時開演 ※10月30日(木)休演	浄瑠璃 五段目 六段目 七段目	道行旅路の花笠〜清元連中〜 山崎街道高師直討しの場 同 二つ玉の場 同 牛兵衛内陣平腹切の場 同 堀岡一力茶屋の場	
■予約開始 10月6日(木) 午前10時〜 ■窓口販売開始 10月7日(金)	【第三部】12月2日(金)〜26日(月) 午前11時開演	八段目 九段目 十段目	道行旅路の嫁入 山科閑居の場 同 天川屋義平内の場	十一段目 同 同 同 同 同
	出演者 松本幸四郎 (大星由良之助) ほか 中村梅玉 (堀治判官)			高家表門入りの場 同 広間の場 同 奥庭泉水の場 同 榮部屋本懐復讐の場 花本橋引揚げの場

【会場】  
国立劇場

【対象公演日】

	10月公演	11月公演	12月公演
飛び石セット	10月8日(土)	11月23日(水)	12月25日(日)
土曜(中旬)セット	10月15日(土)	11月12日(土)	12月10日(土)
日曜(中旬)セット	10月16日(日)	11月13日(日)	12月11日(日)
土曜(下旬)セット	10月22日(土)	11月19日(土)	12月17日(土)
日曜(下旬)セット	10月23日(日)	11月20日(日)	12月18日(日)

※各セットの公演日は変更出来ません。